

3.

人間の寿命は 126 年

会場に、急に熱気が戻りました。

「え、俺が前田だって、どうしてわかったんだ？」

前田さんだけは、頭を左右に振って不思議がっています。

みなさん、老化を恐がっているながら、老化ってどういうことかを本気で考えたことがないのではありませんか。

うんうん、そうかもしれないと言わんばかりの顔が、龍の言葉を待っています。

では、はじめに寿命についてのお話から始めましょうか。

寿命、その日は、いつの日かどなたにもやってきます。

それは、生まれた時から決められていたのではありません。

みなさんの今まで、そしてこれからの生き方で決まるのです。

その日は、体内臓器の使用期限が切れた日。

そこが人生の終わる到達地点。これは仕方がないことです。

「体内臓器の使用期限って、自分の生き方で決めるものなんですか」

その通りなのです、坂本さん。

でもね、みなさん、体内臓器の使用年数は最長 126 年もあるんです。

これは生まれた時から決まっていた。

その意味は、どうがんばっても人は 126 年以上の長い寿命は望めないということ。